

松浦民報

2015年10月

発行 日本共産党松浦市委員会 電話・FAX 0956-75-1947

ブログ「ゆう子のひろば」http://pub.ne.jp/yukoya/

日本共産党松浦市委員会の見解を紹介します。



日本共産党松浦市議会議員

安江ゆう子の市議会だより

日本共産党の安江ゆう子市議は定例9月市議会で、「つばき荘」問題、安定ヨウ素剤の配備について、高齢者わくわく・おでかけ支援事業について一般質問しました。

事故時には安定ヨウ素剤の速やかな服用を

玄海原発から最短8・3キロ、全市内が30キロ圏内に住む松浦市民は、常に原子力災害の危険と隣り合わせで生活しています。

内部被ばくのリスク軽減を図るため、鷹島町では安定ヨウ素剤の事前配布説明会が行われ、服用可能と診断された方には、安定ヨウ素剤が渡されました。

市内保育所、幼稚園、小・中学校、高校では、それぞれ1000錠ずつ緊急配備が行われています。市役所本庁、鷹島支所、福島支所、市内各診療所にも合計11万8000錠が配布されています。

安江ゆう子議員は、市内保育園・学校等へ緊急配備され



安定ヨウ素剤 鷹島での説明会

安江ゆう子議員は、タクシー券と温泉券が、地域や個人に合わせた使い方ができるようにならないかとの市民の要望を受けて質問しました

防災課長 園児は、原則保護者への引き渡し後に、市内集合場所または東彼3町の代表避難所で服用。

引き渡しが出来なかった場合、市と県が連携の上、服用の指示を出し、その時点で緊急配備をしている安定ヨウ素剤を園児・保育所職員が服用となる。小中学校・高校も同様の対応となる。

安江 保育所で服用させるときに、アレルギーとか禁忌という場合は、どういうふうにかえておられますか。

防災課長 アレルギー等については、学校、保育園等において、そういった児童生徒の健康状態を把握されているかと思っ

市から各小中学校・幼稚園に飲ませる事が出来ない児童生徒については、繰り返し説明をしておくことも必要と考えている。

安江 保育所の職員さんにしてみれば、専門知識がないのに、飲ませているのか、と不安です。

他の自治体では緊急配備の分をいざというときに飲ませていいですよという保護者が承諾書を保育所に提出して、それを確認して引き取りがなかった子供に対しては飲ませるといふふうに安全弁をつけているところがありますが、そういう所は考えられておりませんか。検討する意はございますか。

一人ひとりや地域に対応した高齢者支援事業が大事

平成24年度から始まった高齢者わくわく・おでかけ券。

この事業は、高齢者等の積極的社会参加を促進すると共に福祉の向上を図るものですが、申請が必要となっており、交付率は58・2%。さらなる対象者への周知徹底が必要となっています。

安江ゆう子議員は、タクシー券と温泉券が、地域や個人に合わせた使い方ができるようにならないかとの市民の要望を受けて質問しました



わくわくおでかけ券

安江 温泉券の利用が14%ということ、温泉券が1枚500円で月に2枚、年間1万2千円。その半分だけでも外出券に併用できるような考

「戦争法廃止の国民連合政府」を

安倍政権は国民の7割近い反対の声を無視して憲法違反の戦争法(安保法制)を強行しました。日本共産党は戦争法廃止・立憲主義回復のために「戦争法廃止の国民連合政府」の提案を

発表し、政党、団体、個人に呼びかけました。志位和夫委員長の提案が必要な方は安江ゆう子市議まで。またはこちらから



まつらぐるっと商品券 第二弾がまもなく販売

プレミアム率20%の商品券



1セット1枚500円の商品券12枚(6,000円分)を1セット5,000円で販売されます。

◎11月1日(日)～11月10日(火) 松浦市民お一人様4セットまで

◎11月11日(水)～完売次第終了 お一人様(松浦市民に限りません)6セットまで

防災課長 事前承諾書をとるといふことにつきましては、ちよつと想定をしていなかった部分ではございますので、県の方と協議をして参りたいと考えている。